

2つの大きな特徴

1. 点数は符計算を廃止、翻（役）だけで計算します
アンカンすると1翻UP
ミンカン2つで1翻UP ※ドラと同様にアガリ役ではありません
2. サイコロを使用しません
配牌の取り出しは常に「自7」
※親の牌山の右から7列を最初の王牌とする

アガリ点数一覧表

<子の点数>

	ハン数	ツモアガリ	ロンアガリ
	1ハン	300・500	1,000
	2ハン	500・1,000	2,000
	3ハン	1,000・2,000	4,000
マンガン	4ハン~5ハン	2,000・4,000	8,000
ハネマン	6ハン~7ハン	3,000・6,000	12,000
倍マン	8ハン~10ハン	4,000・8,000	16,000
3倍マン	11ハン以上	6,000・12,000	24,000
役満		8,000・16,000	32,000

<親の点数>

	ハンの数	ツモアガリ	ロンアガリ
	1ハン	500オール	1,500
	2ハン	1,000オール	3,000
	3ハン	2,000オール	6,000
マンガン	4ハン~5ハン	4,000オール	12,000
ハネマン	6ハン~7ハン	6,000オール	18,000
倍マン	8ハン~10ハン	8,000オール	24,000
3倍マン	11ハン以上	12,000オール	36,000
役満		16,000オール	48,000

※ 親の連荘はありますがツミ場（1本場300点など）はありません

※ 符がないので、役の翻数だけで点数が決まります

<例> リーチ（1）・ツモ（1）・ピンフ（1）・ドラ1 → マンガン
タンヤオ（1）・ツモ（1）・チートイツ（2） → マンガン

※当初、配牌の取り出し（開門）は親の牌山の右端としておりましたが、その他の大会で「自7」が採用されているところも多く、今回の大会はそれに倣って「自7」とします。